

CAFE BALCONY CAFE

カフェ・バルコニーの家

通信

平成 26 年 5 月号 (第 48 号)

CAFE BALCONY CAFE BALCONY CAFE BALCONY



皆様は、ゴールデンウィークを、どのように過ごすつもりでしょうか。

散歩されたり読書をしたり旅行に出かけたり、もしくは普段どおりにお仕事の方など、それぞれご予定が、あるかと思えます。

空の下で、のんびりと鯉のぼりをながめてみるのも、よろしいかなと感じます。

カフェ・バルコニー通信5月号をお届けします。



撮影者：高橋秀明

「カフェ・バルコニーの家」の活動紹介



上野バス旅行



暑いくらいの温暖な気候の中、みんなで上野に行って来ました。平日だったが、学生は休みだったのか？ 大変な混雑だった。上野に着いてから自由行動で、僕は男グループで上野のアメ横に行ったけど、そこにはまだ昭和の雰囲気があった。アメ横以外、動物園や美術館には行けなかったの、いつか個人的に行ってみたいと思った。

J. M.





上野公園のお花見

四月十日太陽号に乗って上野の花見に行きました。桜は散っているのではないかと心配しましたが、まずまずの咲き具合で八重桜は満開でした。第一の目的はパンダを見る事だったのですが、ちょうどパンダは食事中で笹を食べていたのでいい写真がとれて嬉しかったです。パンダ舎はいつもは長蛇の列でなかなか見えないらしいのですが、オスもメスもバッチリ見えました。日頃の行いが良いからだと思います。そのあと、不忍池を通り東天紅本店に向かいました。東天紅でランチが1500円位で食べられると思って行ったら予想とかなり違ったのでそこで食べるのはやめて近くの喫茶店でご飯にしました。そのあと、旧岩崎邸庭園に向かいました。明治29年に建設された岩崎彌太郎の長男の岩崎久彌の本邸です。なんと15000坪の敷地に500坪の建物だそうです。庭のすみにはビリヤード室があり洋館から地下で繋がっているそうです。

U. K.



今回は茶の間の体育会系活動を紹介します

○フットサルの活動を紹介したいと思います。

体育館に念願のゴールが来ました。それまではコーンなどしるしになるものを置きゴールに見立ててプレイしていました。

やはりゴールが届いたことにより、よりフットサルらしくなり、シュートが決まるとみんなでも喜びあいます。今後も新しいゴールにたくさん点が入るような、強いチームになりたいものです。

K. S.



○次は卓球の紹介です。

最近卓球のメンバーの上達が目覚しく感じます。最初のころからは想像できない返球とかで球が返ってきます。今のは無理でしょというのも返ってきます。卓球歴3年以上の自分ですが、本気になることもしばしば、というか回転&スマッシュなしのハンデ以外は完全に本気で試合しています。それで面白い試合になるので、とても毎回楽しみにして楽しんでいます。

卓球はやればやった分、身につくと思うのでぜひあなたも参加してみませんか。

高橋秀明

○マラソン、ランニング等

ジョギングは、サイクリングロードを海に向かって走りますが、メンバーはいつもだいたい3、4人あとは散歩のメンバーが何人かいます。

晴れていて空気が澄んでいると海からスカイツリーと富士山が同時に見えて絶景だったりします。新緑の季節なので、よかったら皆と一緒に走りませんか。

S. S.

○土壌改良材

今年も春になり花の植え替えや野菜の種まきの季節になりました。コーヒー粕や油粕、米ぬかなどの材料集めに奔走しています。毎週火曜日に茶の間の庭で土壌改良材作成しています。三か月以上熟成させたものをパック詰めして商品にして売れる形にしています。天気の良い日の外での作業はとても気持ち良いです。みんなと和やかに会話しながらの作業は楽しいです。

K. T.



○畑の収穫

私たちは畑で、春菊、小カブ、ジャガイモ、ニンジン、ほうれん草、小松菜、大根、ブロッコリー、キャベツ、水菜、バジルなどのハーブ、花などを、作っております。広い畑は農家から借りています。今までの畑の農作業は、週2回でし

たが、

4月から週3回に回数が増えましたので、収穫が増えそうで楽しみです。農作業は雨が降ったりすると正直つらいですが、ネギなどの収穫があると、励みになります。

S. S.



花見ツアー

初めまして、このたびカフェ・バルコニーの家のメンバーになりました。


井門 晃と申します。どうぞよろしく申し上げます。上野公園バスツアーは、お楽しみ頂けましたでしょう

か？

この企画は新参者の僕が勝手に企てた企画です。

それは、3月19日の帰宅後、ニュースを見ていたら、パンダの公開を再開したというニュースでした。その時、パンダ、上野公園、お花見、ビールが連想され、迷わずに太陽号のサイトにアクセスして、予約交渉に入りました。簀下さん、石川さんの許可もなく。はじめは4月3日に空いていると言うと予約で埋まるとの事で、それでは一番早く取れる木曜日はと尋ねると10日なら空いているとの事で迷わず予約を取りました。いわゆる事後報告ってやつです。簀下さんにはOKを頂きました。また石川さんには良くとれたなと言われました。何か月前でないと予約は取れないそうです。知らないって怖いですね。(笑) となると、10日の天気心配でたまりませんでした。それまで毎週木曜日は、雨が降っていたので。あとはパンダがその気になって展示ができなくなったらと、特に3日は雨でした。スリルありますよね。勝手に企画して当日大雨だったりしたらとか。10日の朝、目が覚めてたら観光日和の晴天。嬉しかったです。上野公園にある施設はすべて手帳でフリーパスであることも確認済みでしたので、どこへ行こうか迷うほど。(笑) また皆でツアーに行きたいですね。はらはらどきどきのツアーは目出度く終わったと思っています。出来れば噴水の前で国立美術館バックに記念写真を撮りたかったのですが。次のツアーを企画される方よろしくお願いします。

井門 晃

 地域の茶の間の写真集です。

あえてコメントなしの写真で、私たちの活動を紹介します。





メンバーの寄稿文。

○星車回れ（エメラルド色の羞恥）

<裏切りと借用証と罪と愛その取り返し難い、悲しみと羞恥、エメラルドのユダの道徳的文字、アジア人的中庸の不快> 奇跡的な不思議な命の洞窟の中で目覚めつつ、その目を開けることもできない、それも自己愛の姿である。彼の暗い病身にどんな夢の矢が突き刺さっているだろうか。ぼくたちは沈黙と十字架と夜の逆立ちした死と同時にぼくたち自身、天上性の再生した世界の中で考えていた。彼をこのまま永遠という名の喜劇の季節の中で再び見失うのは、不可能な夢文字、夢のなかの言葉の風景の中で鎖される者である。

けれどもぼくたちは、年来の雪を返し、性がかつて盗んだ精密な時計を芸術的に破滅させる来るべき神殿のために、青く深い影のなか、心の生と死と再生との感性と知識を使って、つまり内面性の音楽によって、野と海と山と森と遊戯あるいは禁じられた占いの笑いのもとに、彼の幻想的な時空間を探しているのである。そこに芸術と死の武士的な美学があるだろうか。

ただそれがどんなに貴重な精霊の宝物であって、神のつくられた風景の絵画的イメージであるか知られてないのだ。否、それは神の手になった精霊の贈り物であるが故にこそ、寂しき人々の癒しと慰めのために使われつつも、その知的な価値について幻想している、云々。感謝です。

二〇一四・四・三

T.N.

○メンバーによる詩の寄稿。

m、 k	生きながら 踊っていく	空に満ちる心と	まるで湧き上がる夏の雲のよう	それらの感情は	楽しさは文月に似合う強い日差しのよう	哀しみは水無月の雨のよう	怒りは皐月に見る青い葉と舞う風のよう	喜びは卯月に感じる春の花のよう	くるくる ひらひら くるくる ひらひら	花は私と桜の葉と手を繋ぐ
---------	-------------	---------	----------------	---------	--------------------	--------------	--------------------	-----------------	------------------------	--------------



カフェ・バルコニーの家からのお知らせ



1. カフェ・バルコニーの家では、平成 25 年 4 月より、毎月第 1 土曜日 10 : 30~14 : 30、家族会を開催しております。
2. カフェバルコニーの家では NPO 法人「カフェ・バルコニーの家」の理念に賛同頂き、ご支援下さる平成 26 年度賛助会員を募っています。**入会金 2.000 円 年会費 3.000 円（1 口）**です。
賛助会員には通信を毎月お送りし、「カフェ・バルコニーの家」の諸行事にご招待いたします。
3. 「カフェ・バルコニーの家」の活動を支援して下さる応援団を募集しています。
年会費は 1,000 円からです。(郵便振替 郵便振替 00180-2-322417 NPO 法人カフェ・バルコニーの家)
振込用紙は各郵便局にあります。
4. 自立支援医療を受けている人は、社会的自立のために、当会の活動に体験参加できます。
5. 当会で 2 年間調理、接客訓練を受けた方は、**国家資格・調理師試験の受験資格**が得られます。
(調理実習が免除されます)
6. ボランティアさんを募集しています。
レストラン調理(補助)・和菓子作り・パソコン・経理・音楽・スポーツなど、いろいろな活動のボランティアさんを募集しています。メンバーと一緒に楽しもうという気持ちがあれば、誰でも出来ます。まずは、気軽に体験してみてください。
(問合せは **043-377-3502** 藪下、**043-441-3193** 石川まで)
7. ご寄付ありがとうございました。
山本結木様 (500 円)



<カフェ・バルコニーの家 通信 第 48 号 05 月号>

- 発行場所 : NPO 法人カフェ・バルコニーの家
千葉県美浜区磯辺 3-5-7
電話&FAX 043-377-3502
- 発行者 : 藪下 敦子
- 編集長 : 石川 恵一
- イラスト : 堀越 雅子
- HP : <http://www.cafe-balcony.jp>
- E-mail : cafe-balcony.mihama@cnc.jp

